

石ボRで公開講座を実施

(一社)泥土リサイクル協会

課題共有し解決に向け議論

(一社)泥土リサイクル協会(名古屋市、木村孟理事長、☎0587・23・2713)は11月19日、安保ホール(名古屋市)で、「廃石膏ボードリサイクルの社会実装に向けて」

をテーマに公開講座を実施する。専門家や学識者による、石膏ボード処理に関する取り組みについて講演がある他、業界団体や国交省・環境省の担当者らと交えたパネルディスカッションを行う。

同協会は、石膏ボードのリサイクルビジネスに取り組み全国の事

業者の間で、現状の問題意識を共有し、課題解決に向け議論することを目的に実施を決めた。

はじめに、(一社)泥土リサイクル協会の西川美穂氏が「廃石膏ボードリサイクルにおける問題点と課題の変化」について講演。続いて、富山高専専門学校の袋布昌幹教授、福岡大学の佐藤研一教授が登壇する。

後半は、同協会がコーディネーターを務め

るパネルディスカッションを開く。後援・協賛団体の代表者がコメントやパネリストとして登壇し、受講者のさまざまな意見を

集約する。開始時刻は午後1時からで、閉会は午後5時を予定。定員は先着100人となっており、申込締切は11月5日まで。会費(一般企業)は、資料代含む5000円で、講座後は別会場で懇親会が開催される。